

平成25年度 第59回栃木県小学校社会科教育研究会

第3学年提案 足利支部 提案者 足利市立葉鹿小学校 教諭 阿部 勝
授業者 足利市立けやき小学校 教諭 根岸 泰江

研究主題「主体的に社会とかかわり、考える力・表現する力を育てる社会科学習」

1 小単元名 お店のひみつをさぐろう

2 学習指導要領の目標及び内容の分析

本単元は、学習指導要領「社会」第3学年及び第4学年の目標（1）（3）を踏まえ、内容（2）のア、イ及び内容の取り扱い（2）に基づいて設定されたものである。

【目標（1）について】

地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。

これは自分たちの住んでいる地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにすることをねらいとしている。

理解に関する目標である「地域の産業や消費生活の様子」については、地域の人々の生産活動や販売活動の様子には特色があることや県内には特色ある産業があることを理解できるようにすることにねらいがある。

態度に関する目標である「地域社会の一員としての自覚をもつようにする」とは、児童一人一人が地域社会の一員であるという意識や、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境、安全な社会を実現していくために共に努力し、協力しようとする意識を育てるようにすることである。

この目標を実現するためには、内容（2）、（3）、（4）及び（6）の一部の指導を通して、地域社会の人々は様々な工夫や努力、協力をしていること、その結果、人々の健康で安全な生活や良好な生活環境の維持と向上が図られていることを理解できるようにするとともに、地域社会の一員としての自覚を育てるようにすることが大切である。

【目標（3）について】

地域における社会的事象を観察、調査するとともに、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

これは、第3学年及び第4学年の内容全体にかかわる能力に関する目標を示している。

「地域における社会的事象を観察、調査する」とは、地域の地理的環境や人々の社会生活の様子を具体的にとらえたり、その特色や相互の関連などについて考えたりするために、地域における社会的事象を自分の目でよく見たり調べたりすることである。

「地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力」を育てるとは、自分たちの住んでいる市と県内の地域との比較などによって人々の生活の特色について考える力や願いを実現していく地域の人々の工夫や努力、協力、地域の人々の生活や産業と国内の他地域や外国との結び付きなどについて考える力を育てるようにすることである。

「調べたことや考えたことを表現する力」を育てるとは、地域における社会的事象を観察、調査したり、地図や各種の具体的資料を効果的に活用したりして調べたことや、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考えたことを表現する力を育てるようにすることである。

この目標を実現するためには第3学年及び第4学年の内容全体の指導を通して、自分たちの住んでいる身近な地域や市、県の社会的事象を、学習問題に即して意欲的に観察、調査したり、地図や各種の具体的資料を活用したりして調べることができるようにする必要がある。また、調べたことや地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考えたことを相手にも分かるように表現できるようにすることが大切である。

【内容(2)のア、イ及び内容の取り扱い(2)について】

(2) 地域の人々の生産や販売について、次のことを見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。

「地域の人々の生産や販売」とは、身近な地域や市の人々の農作物や工業製品などの生産に関する仕事や販売に関する仕事を指している。

「次のこと」とは学習する際に調べる具体的な対象である、「地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること」「地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり」の二つを指している。

「見学したり調査したりして調べ」とは、ここでの学習の仕方を示している。ここでは、地域の人々の販売の様子を見学して調べることや、販売の仕事に携わっている人々から話を聞いて調べること、原材料や商品の仕入れ先や生産物の出荷先、働く人の通勤圏などを聞き取り調査することが考えられる。

「それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする」とは、販売に関する仕事に携わっている人々が、それぞれの仕事の特色に応じて、他地域などのかかわりを持ちながら、様々な工夫をしていることを具体的に考えることができるようにすることである。

ア 地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること。

ここでは、地域の人々の販売について学習する際に、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考える手掛かりとして、地域には販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていることを調べる対象として挙げている。ここに示された事項について指導する際には、次のことをおさえる必要がある。

「地域には生産や販売に関する仕事があること」を調べるとは、自分たちの住んでいる身近な地域や市の人々の販売に関する仕事の種類や分布を取り上げ、身近な地域や市には販売に関する様々な仕事があることを具体的に調べることである。ここでは、販売に関する仕事として近所の小売店、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、デパート、移動販売などの日常生活に必要な商品を販売する仕事が考えられる。

「それらは自分たちの生活を支えていること」を調べるとは、販売に関する仕事と自分たちの生活とのかかわりについて取り上げ、自分たちの住んでいる身近な地域や市の人々の販売に関する仕事は自分たちの生活を支えていることなど具体的に調べることである。また、地域の商店などから自分たちの生活に必要なものを購入したりサービスを受けたりしていることなどを取り上げることが考えられる。

実際の指導に当たっては、見学や調査、作業的な活動などを取り入れて具体的に調べるようにすることが大切である。例えば、市内の商店などの分布について調査したり、資料を活用したりして白地図にまとめる活動、また、商店の仕事の様子を観察したり仕事に携わっている人から話を聞いたりする活動を通して、販売の仕事

の工夫や自分たちの生活とのかかわりについて気づくようにさせることも考えられる。なお、販売の仕事と自分たちの生活とのかかわりを調べる際、個人のプライバシーに十分配慮する必要がある。

イ 地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などとのかかわり

「地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色」を調べるとは、地域の人々の生産活動や販売の仕事に見られる工夫を取り上げ、それぞれの仕事の特色を具体的に調べることである。商店などの販売の仕事については商品の品質管理、売り場での並べ方や値段の付け方、宣伝の仕方などに見られる仕事の工夫を取り上げることが考えられる。その際、販売者側の工夫と関連付けて消費者側の工夫を取り上げるようにする。

「国内の他地域などとのかかわり」を調べるとは、商品の仕入、働く人の通勤圏などに見られる国内の他地域などとの結びつきを取り上げ、地域の人々の販売の仕事が様々な面で国内の他地域などとかかわりをもっていることを具体的に調べることである。

国内の他地域などとのかかわりについて取り上げる視点としては、人と物の二つが考えられる。人によるかかわりについては、商店に買い物に来る人が、自分たちの市以外のところに住んでいる場合がある。物によるかかわりについては、商店の商品の中には他の市で生産されているものがたくさんあり、このような他地域とのかかわりは、県内はもとより広く国内の他地域や外国にも及ぶ場合がある。

実際の指導に当たっては、販売については商店の仕事を取り上げ、学習が具体的に展開できるようにする。例えば商店などの仕事を見学して働く人の様子を具体的に調べる活動が考えられる。また、聞き取り調査などを通して人や物による他地域との結びつきを調べ、白地図にまとめる活動も考えられる。

これらの学習を通して、地域の生産や販売の仕事に携わっている人々の工夫を考えることができるようにする。

内容の(2)のイについては、次のとおり扱うものとする。

イ 「販売」については、商店を取り上げ、販売者の側の工夫を消費者側の工夫と関連付けて扱うようにすること。

ウ 「国内の他地域など」については、外国とのかかわりにも気付くよう配慮すること。

イでは、消費者側の信頼を損なうことなく売り上げを高めるための販売者の工夫は、商品の品質や価格などを考えて店や商品を選んで購入している消費者の工夫にも結びついていることについて指導することが考えられる。

ウは、販売における商品の仕入れ先を調べる際、それぞれにおいて結びつきの見られる県や国の名称と位置を地図などで確かめる活動を行い、販売を通して自分たちの地域が県内だけでなく国内の他地域や外国とも関わりがあることに気付くように配慮して指導する必要がある。

3 児童の実態（男子13名、女子15名 計28名）

(1) 社会科への関心・意欲・態度について

本学級の児童は、明るく素直で、学習に意欲的な児童が多い。足利市の様子については、地図や写真、見学から土地やその使われ方、土地利用の工夫などを、興味をもって調べることができた。また、足利市の工場については楽しんで見学をしたり、「のびゆく足利」の読み取りをしたりすることができた。児童のアンケートでは、全員の児童が「社会科が好き」と答えた。その理由としては、「見学をするのが楽しいから」「足利の知らなかったことが分かるから」「まとめるのが面白いから」などがあつた。多くの児童が、実際に見て、聞いて、思ったことをまとめるということに楽しさを感じているようである。

買い物アンケートをとったところ、40%の児童が「よく買い物に行く」と答え、残りの児童は「たまに行く」と答えた。買い物にいっしょに行くのは母親や兄弟が多かった。よく行く店は1位が学区内のスーパー、次いで大型スーパーとなっており、スーパーに行く児童が多いことがわかった。また、商店街などの商店を使う児童は少なかった。

買い物日記で1番多かったのはスーパーで16名、次に大型スーパーで15名となり、肉屋、魚屋などは2名であった。スーパーを利用している家庭は多いが、商店街などを利用する家庭は少なくなっていることが分かった。

(2) 学習形態について

3年生になり、社会科や国語、理科などでグループ活動をするが多くなった。社会科では「学校の周りを調べよう」と「工場の仕事の工夫」の単元の最後にグループごとに模造紙にまとめる活動を行った。グループ活動になると自分が何をしたらよいか分からなくなってしまい、友達に頼りがちな児童もいるため、グループに一人、話し合いを進めるリーダーを置くことで、グループ活動が成り立つようになった。学習のめあてをしっかりとつかませることで、どの児童も自分の考えをもってグループ活動に臨めるようにしていきたい。

(3) 対象児について

	よ	さ
対象児A	社会科をはじめ、学習全般に興味・関心・意欲が高く、積極的に学習に取り組んでいる。理解力も高く、自分の考えをきちんともっている。また、話を意欲的に聞いたり、自分の考えを発表したりすることができる。グループ活動ではリーダーとして主導権を握ることが多いが、友達の意見も聞きながらまとめることができる。	
対象児B	考えることが好きで、控え目だが自分の考えや気持ちを発表することができる。特に理科や社会に興味をもっており、毎時間意欲的に活動している。グループの話し合いではリーダーの話をしっかり聞き、自分の意見を言うことができる。ノートのまとめ方も上手で、クラスのお手本になっている。	

4 小単元の単元構想

(1) 主体的に社会とかかわり、考える力・表現する力を育てる教材の開発

① 単元で取得させたい知識・概念に対する問いが生まれる教材の開発

- ・販売活動について調べる活動を通して、スーパーマーケットや商店街には消費者の思いや願いに合った販売方法の工夫があることを理解する。
- ・本地区には昔栄えた商店街があり、地域住民の生活と密接な関係があることを理解する。

② 子供が主体的に関わり問題解決への意欲を高める教材の開発

- ・家庭では何を理由にお店を選んでいるかを買物などの実体験から考えさせる。
- ・店頭での販売だけでなく、インターネットなどで宣伝販売している店についてもインタビューや聞き取り調査をする。

③ 社会に生きる人間の姿を追求できる教材の開発

- ・商店街では、地域や人とのつながりを大切にして店同士が協力し、地域住民の願いを考えながら販売の工夫について努力していることを知ることができる。

(2) 主体的に社会とかかわり、考える力・表現する力を育てる問題解決的な単元展開の工夫

①考える内容（知識・概念）・方法の明確化と学習内容の構造化

- ・本学区の地域性から、スーパーマーケットと商店街を見学し、スーパーマーケットと商店街のそれぞれの良さや相違点があることを調べていく。
- ・商店街の「販売」について販売者側の工夫を消費者側の願いと関連付けて理解する。

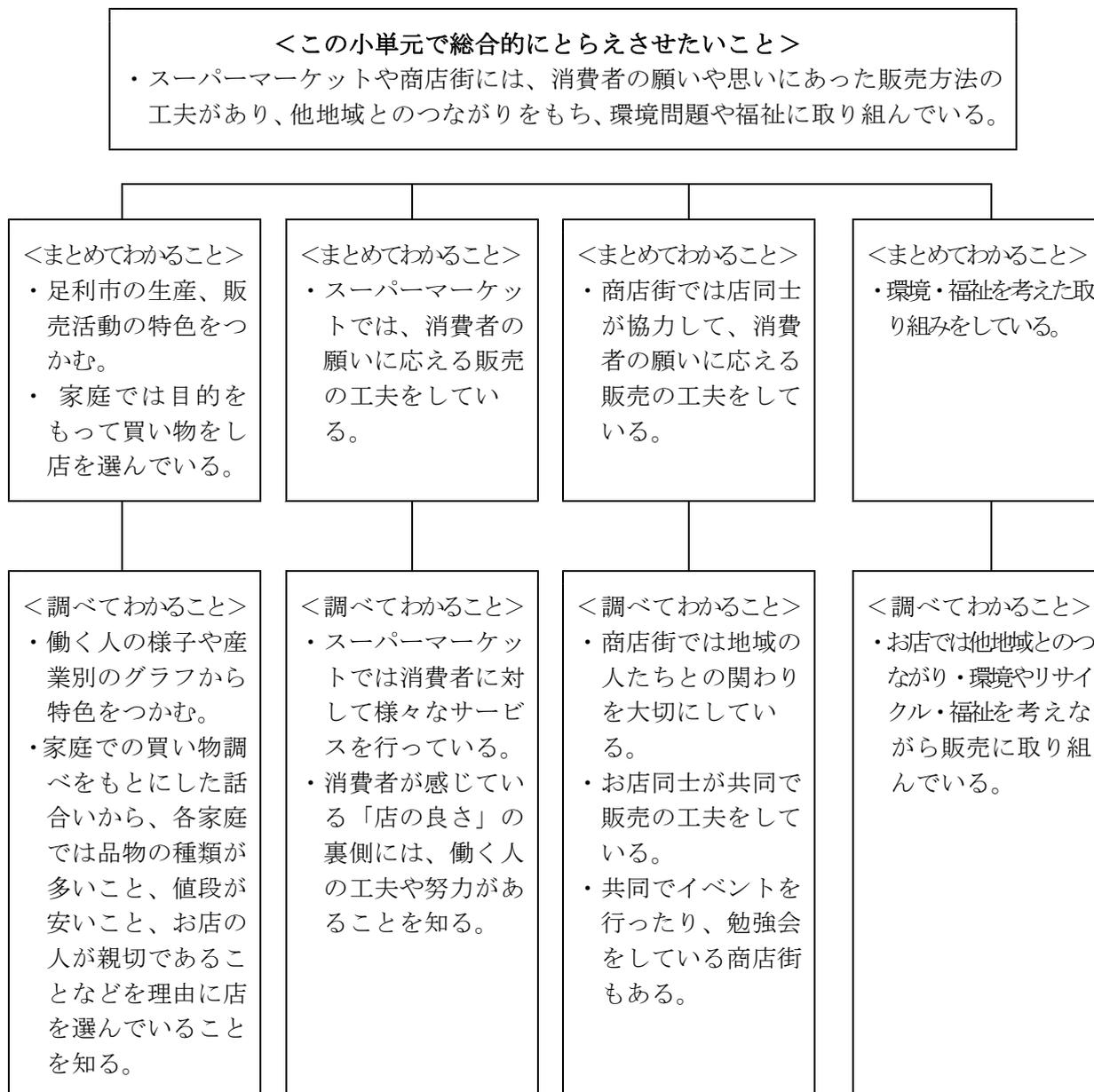
②子供の学ぶ意欲を高め、考える力・表現する力を育てる学習問題・発問

- ・消費者の思いや願いに合わせた販売に関心をもたせ、消費者側からみた店の良さ、お客さんの願いに応える販売の工夫に気付かせる。

③必要な情報の収集・読み取りを踏まえた思考・判断・表現の場の設定

- ・スーパーマーケットの見学の前に、写真等の資料から見学時の視点をもたせる。
- ・全体でスーパーマーケットを見学したあとに同じ視点から商店街とスーパーマーケットについての良い点を比較させ、スーパーマーケットや商店街の工夫についてまとめていく。

※小単元の学習内容構造図（お店のひみつをさぐる）



(3) 主体的に社会とかかわり、考える力・表現する力を育てる学習活動と指導・支援及び評価の工夫

①個での学びにおける指導支援の工夫

- ・家庭での買い物の実体験や家族へのインタビューなどから「良いお店とはどんなお店か」について考えていくが、消費者の立場から考え、発想するよう支援し、自分の言葉でまとめるよう援助していく。

②学び合いにおける指導・支援の工夫

- ・実体験をもとに複数のお店の長所や違いについて比較させ、消費者は目的に応じてお店を選んだり、お店側ではその願いに応えるよう工夫していることに視点をおいて話し合えるようにする。

③「社会的な思考・判断・表現」の評価の工夫

- ・話し合いでの見取りとともに自分の考えや意見をノートに書かせたり、作業用紙を活用し、ノートに貼らせたりする。
- ・自己評価カードで、自分の学習過程を振り返ることができるようにする。

5. 小単元の目標と小単元の評価規準

(1) 小単元の目標

身近な消費生活に関心をもち、販売活動について調べる活動を通して、スーパーマーケットや商店街には、消費者の思いや願いに合った販売方法の工夫があることを考えるとともに、他地域とのつながりや環境問題・福祉への取り組みについて気づくことができる。

(2) 小単元の評価規準

社会事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会事象についての知識・理解
<p>買い物調べを行い、調べた結果を進んで地図や表に表そうとする。</p> <p>販売店が行う工夫や働く人の努力を見学を通して意欲的に調べようとする。</p>	<p>販売店におけるさまざまな工夫を、消費者の思いや願いと対応させて考え、適切な言葉で表現している。</p> <p>自分たちの地域は、消費生活を通して、広く他地域と関わりがあることを考え、適切な言葉で表現している。</p> <p>調べたことをカードにまとめたり、それをもとに発表したりしている。</p>	<p>自分たちの買い物について、調査したことについて日記にまとめたり、表やグラフ、地図に表したりしている。</p> <p>スーパーマーケットなどの販売店を見学し販売の工夫や特色について必要な情報を集め読み取っている。</p>	<p>買い物をする人は目的をもって店を選んでいることを理解している。</p> <p>販売に携わっている人々の仕事について、その努力や工夫を理解している。</p> <p>他地域との関わりや、環境・福祉を考えた取り組みについて気づいている。</p>

6. 小単元の基本的な展開計画と評価計画

過程	時間	ねらい	主な学習活動	評価
つかむ・見通す	1	○自分たちの買い物の経験について話し合い、商店街とスーパーマーケットなどの店の違いを考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> よく買い物に行く店を発表する。 店の人、お客さんの会話を考え、発表する。 「買い物日記」を見て、買い物の調べ方について話し合う。 「買い物調べ」について話し合う。 <教師の支援> <ul style="list-style-type: none"> グループごとにテーマをもって調べられるようにする。 	○自分たちの買い物の経験から、商店街とスーパーマーケットなどの店の違いに気付くことができたか。
	2	○家のは、買い物をする店をどのように選び、利用しているのかを、考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の家の「買い物日記」について見直す。 自分（家の人）が、その店を選んだわけについてグループ内で話し合う。 家のはの買い物の仕方についてまとめる。 <教師の支援> <ul style="list-style-type: none"> まとめかたについて、考えさせる。 	○家のは、買い物をする店をどのように選び、利用しているのかに気付くことができたか。
	3	○家のはの買い物の様子を買物表にまとめ、お店の選び方や、利用の仕方を考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 白地図に、買い物先ごとにシールを貼る。 グラフを見て、気付いたことを発表する。 店の良いところを見つけ話し合い、発表する。 <教師の支援> <ul style="list-style-type: none"> 地図や表に工夫してまとめられるようにする。 	○家のはの買い物の様子を表にまとめ、買い物をする店をどのように選んでいるのかを気付くことができたか。
調べる	4	○スーパーマーケットでの買う人に合わせた販売の工夫に関心を持ち、学習問題をつかむことができる。	<ul style="list-style-type: none"> スーパーマーケットの利用が一番多いわけを予想し、発表する。 買い物に来る人には、どんな思いや願いがあるか、話し合う。 スーパーマーケットの売り場の工夫を考える。 <教師の支援> <ul style="list-style-type: none"> グループごとにテーマをもって調べられるようにする。 	○スーパーマーケットでの買う人に合わせた販売の工夫に気付くことができたか。
	5	○買う人に合わせた販売の工夫や他地域とのつながりについて、スーパーマーケットに行つて調べる計画を立てることができる。	<ul style="list-style-type: none"> スーパーマーケットの探検について、調べる内容・方法を話し合う。 見学の計画を立て、「たんけんのやくそく」を確認する。 見学メモの方法について話し合う。 <教師の支援> <ul style="list-style-type: none"> グループごとにテーマをもって調べられるようにする。 	○スーパーマーケットに行つて調べる計画を立てることができたか。

調 べ る	6	○お客さんやお店の 人にインタビュー して、消費者の側 からみたお店の良 さ、お客さんの願 いにこたえる販売 の工夫に気付くこ とができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでスーパーマーケットを 見学し、お店の様子を調べる。 ・お客さんにインタビューする。 ・お店で働く人にインタビューする。 ・店長さんの話を聞いて、見学したことを確か める。 <p><教師の支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・的確な質問ができるよう、働きか ける。 	○消費者の側からみ たスーパーマーケ ットの良さ、お客 さんの願いにこた える販売の工夫に 気付くことができ たか。
	7	○スーパーマーケッ トの見学から気付 いたことや工夫を まとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・見学から気付いたや工夫について グループで話し合う。 ・全体でスーパーマーケットの良さ について話し合い、まとめる。 <p><教師の支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・気付いたことを積極的に話し合え るよう働きかける。 	○スーパーマーケッ トで見つけた工夫 とその理由、よさ についてグループ で話し合い、まと めることができた か。
	8	○商店街の人たちの 工夫に関心をもち、 学習問題をつかむ ことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の人たちが困っていること や努力していると思われることを予想 し、発表する。 ・買い物に来る人には、どんな思い や願いがあるか、話し合う。 ・商店街の人たちの工夫について考 える。 <p><教師の支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとにテーマをもって調べられるように する。 	○商店街の人たちの 工夫に気付くこと ができたか。
	9	○商店街に行って調 べる計画を立てる ことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・近くの商店街の探検について、調 べる内容・方法について話し合う。 ・見学の計画を立て、「たんけんのや くそく」を確認する。 ・見学メモの方法について話し合う。 <p><教師の支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとにテーマをもって調べられるように する。 	○商店街に行って調 べる計画を立てる ことができたか。
	10	○お客さんやお店の 人に インタビュ ーして、消費者の 側からみたお店の 良さ、お客さんの 願いにこたえる販 売の工夫に気付くこ とができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで近くの商店街を見学し、 商店街の様子を調べる。 ・お客さんにインタビューする。 ・商店街で働く人にインタビューす る。 <p><教師の支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・的確な質問ができるよう、働きか ける。 	○消費者側からみた 商店街のよさ、お 客さんの願いにこ たえる販売の工夫 に気付くことができ る。
	11	○商工会議所の方に 商店街の工夫につ いてのお話を聞き、 商店街の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所の方の話を聞き、商店 街ならではの工夫やよさについて 考える。 ・商店街の今と昔の違いについて知 	○商店街の移り変わ りの様子や販売の 工夫やよさについ て気付くことがで

		や工夫について知る。	る。 ＜教師の支援＞ ・写真などを使って商店街の様子をわかりやすく伝えられるようにする。	きたか。
12 本時		○商店街の見学や商工会議所の方のお話から気付いたことや工夫をまとめる。	・キャッチコピーやお店の様子から、お店の良さについてグループで話し合う。 ・調べた店の良さや様子をグループで話し合ったことを発表する。 ・商店街の良さをまとめる。 ＜教師の支援＞ ・キャッチコピーをもとに、店の良さを考えるように促す。	○商店街の良さについて自分なりの考えをもてたか。
まとめる ・ いかす	13 ・ 14	○見学して発見したことを確かめながらまとめ、分かったことや考えたことをグループごとに模造紙にまとめる。 ○お客さんの願いにこたえる販売の工夫について自分の考えをもつ。	・見学して分かったことをまとめる。 ・グループごとに模造紙にまとめる。 ・話し合ったことをもとに自分の考えをもつ。 ＜教師の支援＞ ・的確にまとめられるよう、支援する。	○お客さんの願いにこたえる商店街やスーパーマーケットの販売の工夫について、自分の考えをもてたか。
	15	○発表から商店街やスーパーマーケットでは、お客（消費者）を集めるためにどんな工夫をしているのか気付くことができる。	・商店街やスーパーマーケットではどうやってお客を集めようとしているか考える。 ・商店街やスーパーマーケットではお客を集めるために、どんな工夫や努力をしているか、話し合う。 ・話し合ったことをもとに自分の考えをもつ。 ＜教師の支援＞ ・商店街とスーパーマーケットのそれぞれのよさに気付けるようにする。	○商店街やスーパーマーケットでは、お客（消費者）を集めるためにどんな工夫をしているのか気付くことができたか。

7. 指導の実際

(1) 取り上げた授業について

① 本時の指導 (12 / 15)

ア 題目 商店街について調べたことをまとめよう。

イ 目標

- ・見学したことをもとに、お店のよさを考えることができる。(社会的な思考・判断・表現)・グループで協力して話し合い、まとめることができる。(関心・意欲・態度)

学 習 活 動	時間	教 師 の 支 援	評価・資料
1. 前時までの学習を振り返り、本時の学習内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 商店街のお店のよいところを見つけよう </div>	5	・前時までの学習内容を振り返り、本時のめあてを確認して、意欲を高めさせる。 A 足利逸品堂 ・富士屋 B HAMADA ・須永青果 C 香雲堂 ・赤城亭 D 舟定 ・丸川屋 E 香雲堂 ・天狗堂 F 紀秀堂 ・魚武 G ヤザワスポーツ ・うさぎ屋	写真 見学カード
2. グループに分かれて、自分の調べたお店のよさについて話し合う。	20	・各グループで、お店のキャッチコピーから、お店のよさを考えさせる。 ・リーダーを中心に話し合いを進めさせる。 ・お店の名前、キャッチコピー、お店の様子について作業用紙にまとめさせる。	作業用紙 意欲的に話し合いに参加しているか。
3. グループごとに話し合ったことを発表する。	10	・グループの代表が、調べたお店はなぜそのキャッチコピーがつけられているのか、お店のよさは何かを発表させる。 ・気が付いたことを書いた付せんでキャッチコピーに関係のあるものを移動しながら発表させ、お店の様子を整理させる。	
4. お店のよさをまとめる。	7	・各グループから出された意見をもとに、お店のよさをまとめさせる。	
5. 本時の学習を振り返る。	3	・自己評価カードに本時の学習の感想を書かせ、授業を振り返らせる。	自己評価カード グループで協力して作業できたか。

(2) 授業の実際 (単元計画レベル)

時数	対象児A・対象児B・全体の様子
1	○ 自分たちの買い物の経験について話し合い、スーパーと商店街などの店の違いを考える。 A児の様子 ・自分の行ったことのある店を発表し、意欲的に話をしていた。 B児の様子 ・スーパーに行くことが多いと発表。 全体の様子 ・多くの児童がスーパーで買っていると答えた。いろいろな物が売っていて便利という意見が多かった。買い物調べに意欲的であった。
2	○ 買い物日記からお店の選び方や利用の仕方を考える。

	<p>A児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーとしてグループの話し合いを引っ張った。スーパーや大型スーパーが使われるのが多いのは品揃えがいいからだと発表。 <p>B児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客さんや働く人の立場に立って考えていた。スーパーはベビーカーなどもあり、子連れも行きやすい、という意見を出した。 <p>全体の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに買い物日記を照らし合わせて気付いたことを話し合っていた。
3	<p>○ 買い物調べ表をもとに、それぞれのお店のよいところを見つけ、学習問題をつかむ。</p> <p>A児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーやコンビニ、商店街の違いに目を向け、それぞれの店のよさを見つけた。 <p>B児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの店のよいところを自分の経験から発表した。 <p>全体の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの店のよさを見つけ、学習課題である「働く人がお客さんに来てもらうためにしている工夫」についての学習意欲を高めた。
4	<p>○ スーパーマーケットでの販売の工夫に関心をもち、学習問題をつかむ。</p> <p>A児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットの工夫を、お客さんの立場から考えることができた。 <p>B児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーの工夫を、お店の人の立場に立って考えるのに悩んでいたが、お客さんの願いが店の工夫になっていることに気付いた。 <p>全体の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店の工夫をよく考え、発表した。お客さんの思いと店の工夫がつながっていることに気がついた児童も多かった。
5	<p>○ スーパーマーケットの見学の計画を立てる。</p> <p>A児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店長に質問したいことを今までの経験や学習をもとに考えることができた。 <p>B児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーで質問したいことをグループで協力して考えた。 <p>全体の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーで質問したいことをグループごとに話し合った。どの児童も見学を楽しみにしていた。
6	<p>○ スーパーマーケットの見学やお客さんやお店の人のインタビューから、販売の工夫を見つける。</p> <p>A児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味をもって見学したり質問したりし、気付いたことをたくさんメモできた。 <p>B児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に質問したり見学したりし、販売の工夫を見つけることができた。 <p>全体の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの児童も興味をもって見学し、知らなかった販売の工夫を聞いて「へえー」と声をあげていた。
7	<p>○ スーパーマーケットの工夫についてまとめる。</p> <p>A児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学に行ってみつけた工夫をお客さんやお店の立場に立って考えることができた。

	<p>B 児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーで見つけた工夫をグループで話し合い、再確認することができた。 <p>全体の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーで見つけた工夫とその理由を、グループで話し合い、まとめることができた。
8	<p>○ 商店街の人たちの工夫に関心をもち、学習問題をつかむ。</p> <p>A 児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店のよさや客の願いを、自分なりに考え、意見を出すことができた。 <p>B 児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店のよさをお客さんの立場から考え、商店街探検への意欲を高めた。 <p>全体の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店ならではのよさやお客さんの願いを考え、商店街ではどのような工夫や努力をしているのかを調べようという学習課題をつかむことができた。
9	<p>○ 商店街の見学の計画を立てる。</p> <p>A 児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーに立候補し、グループで話し合って質問を考えることができた。 <p>B 児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店の人に興味をもち、コミュニケーションを大切にするのはなぜかを聞きたいと、見学に意欲的である。 <p>全体の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店の工夫を調べるのに意欲が高まった。
1 0	<p>○ 商店街の見学やお客さんやお店の人のインタビューから、お店の工夫を見つける。</p> <p>A 児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的にお店の人やお客さんにインタビューすることができた。 <p>B 児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お店の人とお客さんの結びつきについて考えることができた。お店はお客さんの要望をかなえようと工夫していることに気付いた。 <p>全体の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの児童も興味をもってお店の方の話に聞き入っていた。スーパーとの違いを考えた児童もいた。
1 1	<p>○ 商工会議所の方に商店街の工夫についてのお話を聞く。</p> <p>A 児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の工夫について興味をもって話を聞くことができた。 <p>B 児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションについての質問をするなど、商店街の人々の工夫について興味をもって聞いていた。 <p>全体の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の様子や人々の工夫について、メモを取りながら興味をもって聞くことができた。
1 2	<p>○ 商店街についてまとめる。</p> <p>A 児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べた店のキャッチコピーや様子から店のよさについて考え、グループ活動で積極的に自分の意見を発表した。 <p>B 児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べた店のよさについて、店で働く人々の様子から考え、進んで意見を発表した。

	<p>全体の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店のキャッチコピーや様子から、その店のよさについてグループごとに考え、発表した。
13 14	<p>○ スーパーマーケットと商店街を見学して発見したことをグループごとにまとめる。</p> <p>A児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーの工夫と商店街の工夫の違いに着目して、模造紙にまとめることができた。 <p>B児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーのよさと商店街のよさに着目して、模造紙にまとめることができた。 <p>全体の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーと商店街で調べたことを、よさや工夫、様子に注目して、班ごとに話し合いながらまとめることができた。
15	<p>○ グループごとの発表から、商店街やスーパーマーケットのお客を集める工夫について気付くことができる。</p> <p>A児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーにも商店街にもそれぞれのよさがあることに気付いた。 <p>B児の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーや商店街のよさについて知り、働く人の工夫について気付くことができた。 <p>全体の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーにも商店街にもそれぞれよさがあることを知り、お客を集めるために工夫していることに気付いた。

(3) 授業の実際 (本時)

学習活動	時間	対象児 A	対象児 B	全体
<p>1. 前時までの学習を振り返り、本時の学習内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> <p>商店街のお店のよいところをみつけよう。</p> </div>	5	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の話をよく聞いて、前時までの学習内容を振り返る。 ・「今は何の勉強をしているんでしょう」の問いかけに、「商店街！」と手を挙げながら元気に答える。 ・店の写真を見て、挙手をしたり、店名をつぶやいたりする。 ・「魚武」 ・「魚武に行った人」の問いに挙手する。 ・めあてを読む。 ・教師の「商店街のまとめで 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の話をよく聞いて、前時までの学習内容を振り返る。 ・店の写真を見て、店名をつぶやく。 ・「天狗堂、須永青果、足利逸品堂、香雲堂、ハマチーズ、ヤザワスポーツ、紀秀堂、舟定、マルカワヤ、赤城亭」 ・「魚武」 ・「魚武に行った人」の問いに挙手する。 ・めあてを読む ・お店のよさについて分か 	<p>(学習活動1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲示された写真を見て、どこの写真かを答える。 ・めあてを全員で読む。 ・「何を話し合うか」との教師の問いに、児童は口々に「お店のよさ」

2. グループに分かれて、自分の調べた店のよさについて話し合う。

20

- す」に続けて、「まとめです」とつぶやく。
- ・お店のよさについて分かったことをまとめることを聞く。
- ・水色のプリントを見ながら学習の進め方を確認する。
- ・見学カードを眺めながら、今日の活動を考えている。
- ・教師から今日の学習内容について説明を聞き、B児と顔を合わせる。
- ・「何を話し合うの」の問いに「お店のよいところ」と答える。
- ・机を移動し、グループにする。
- ・「どっちにする？」
- ・みんなの多数決でお店が魚武に決定すると「よっしゃあ」と声を出す。
- ・グループの話し合いを進める。
- ・見学カードを見ながら、お店のよさについて記入する。
- ・「コミュニケーションやおいしいものを食べてもらいお客さんに楽しい商売をしているじゃない？」
- ・「様子じゃないよ。よさだよ。」
- ・「班長が進めて。」
- ・「『コミュニケーションやおいしいものを食べてもらいお客さんに楽しい商売をしている』じゃない？」をし



ったことをまとめることを聞く。
「よさについてまとめるのだよね。」

- ・水色のプリントを見ながら、学習の進め方を確認する。
- ・見学カードを眺めながら、今日の活動を考えている。
- ・教師から今日の学習内容について説明を聞き、A児と顔を合わせる。
- ・「お店のよいところについて話し合うのだよね。」とA児に話しかけ「大丈夫」とつぶやく。
- ・机を移動し、グループにする。
- ・「どっちにする？」
- ・みんなの多数決でお店が魚武に決定すると「やった。うふふ。」と声を出す。
- ・グループの話し合いを進める。
- ・見学カードを見ながら、お店のよさについて記入する。
- ・A児の問いに「そのとおり、それでいいよ。」と答える。
- ・「お店の良さについて話し合うのだよね。」と確認しながら書記の児童の方を向く。



- ・「先生、私達の班は、魚武に決まりました。」
- ・「なぜ、そこの店に決めたか、訳をよく書いてね。」先生の助言をよく聞く。

と答える。

(学習活動2)

- ・グループごとに話し合いを始める。
- ・前時に使用した付箋を見返しながら話し合う。
- ・「うさぎやは話がいっぱい聞けたよね。」という教師の声かけで、「うさぎやがいい。」と発表するお店を決めるグループもある。
- ・「つまり

ている』じゃない？」とみんなに伝える。

- 書きながら気になることがあるが、教師に聞きたいことがあるが、「先生。ああ、行っちゃった。」
- プリントに書き終わり、周りの様子を見る。
- 「気に入っているとせば」
- 「これ、B 児書いて」
- 下書きを書く児童に字の大きさなどをアドバイスする。
- 「B 児に書いてもらう？」と交代を促す。
- B 児に紙を渡す。
- 下書きをする B 児に「おいしいを入れて」と助言する。
- 「大丈夫かな、入るかな」と下書き書き切れるか心配する。
- 「こういうとき、B 児の配分がきくから。」と B 児のよさを認める。
- 下書きが終わった紙を清書する児童に渡す。
- まとめた紙を見直し、再度内容を確認する。
- 清書をしている児童を待ちながら友達と話す。
- 「すごいねって、先生が言っていたじゃん。」
- 清書している児童に「集中して」と他の児童が声をかけると「俺の集中がどっか行く。」と話す。
- 教師が来て、発表の確認をすると、「〇〇が発表して、俺が手伝う」と答える。
- 「練習しよう、発表の練習。」
- 発表のために、「メモしよう」と発表の児童に促す。
- 「そうしたら俺がこれを動かして。」付箋を動かす動作をする。
- プリントにメモを書く。



- A 児に紙を渡され、字を書き始める。
- A 児に「何で、そうなの？」と質問する。
- 黙々と書き続ける。



- 「発表の練習をしようよ。」とグループの友達に呼びかける。
- 教師に「先生、発表の練習に入りました。」と報告する。

どういうこと。」
「買う人はどう。」という教師の声かけで「安心して買える。」と答える。

- 不明なことは挙手して教師に確認する。
- 画用紙への記入が終わったグループは発表の練習を始める。
- 発表の仕方の説明を聞きながら、メモをする児童もいる。

3. グループごとに話し合ったことを発表する。

10

- ・ 予定より早めに終わったため、「自由、お話タイム」と言う。
- ・ 教師の指示により、話合いをやめ、体を前に向ける。
- ・ 発表の仕方について説明を聞く。
- ・ 最初に2班の発表となり、「やりたいって言ったら、やれるものなの。」とつぶやく。
- ・ 2班の発表が終わると、グループのみんなに、手を挙げるように動作で知らせる。
- ・ 4班の発表になり、ヘルプとして黒板前に移動する。
- ・ 発表児童に小声でフォローをしながら、発表がスムーズに行くようにする。
- ・ 「骨」(ほねほね)



- ・ 小さな声で一緒に内容を読む。
- ・ 合わせて、キャッチコピーに関する付箋を移動する。
- ・ 「〇〇、行け」と他の班の児童に発表するように声をかける。
- ・ 他の班の発表について、教師が「昔のものが売っているんだって。」と補足すると、「大正時代」と答える。
- ・ 他の班の発表を聞く。

4. お店のよさをまとめる。

10

- ・ 「最後に一つだけいいかな。よさがたくさんできてきたよね。商店街全体のよさは



- ・ 教師の指示に従い、話合いをやめ、体を前に向ける。
- ・ 発表の仕方について、説明を聞く。
- ・ A児の話をよく聞く。
- ・ 他の班の発表を聞く。

(学習活動3)

- ・ 発表をよく聞き、終わると拍手をする。発表と発表の間には、グループで相談をする。

- ・ 自分の班の発表を聞きながら頷いている児童もいる。

- ・ 自分の班の発表が終わると、笑顔で大きく拍手をする児童もいる。

- ・ ほとんどの児童が最後まで発表者に注目して聞くことができている。

(学習活動4)

- ・ 商店街のよさにつ

	<p>何が出てきたかな。」の教師の問いに挙手し、指名される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「立って」の声かけにより立ち上がる。 ・「昔ながらのものやスーパーに売っていないものが売っている」と答える。 ・商店街のよさについて黒板を見ながらプリントに記入する。 ・「いいね。メモを写している人がいる。」と教師の声かけ。 ・書き終わり、教師の指示により机を戻し、活動振り返りカードを用意する。 ・プリントに、日にちを書き「先生、あと一日だけ」と声をかけ、「あとはまとめて終わりだね。」と言われる。 ・「水色」と水色のプリントを集める。 ・「先生これは？」とプリントについて聞く。 ・姿勢を正して待つ。 ・教師の次時の予告を聞き、「何やるんだっけ」の問いに「スーパー」とつぶやく。 	<p>のよさは何が出てきたかな。」教師の問いに挙手し、指名される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「相談して買える。」  <ul style="list-style-type: none"> ・メモを熱心に写す。 	<p>いて「昔ながらのもの、スーパーにないものが売っている。」「そのお店ならではのものがある。」「相談して買える。」との意見が出る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめを書けた児童から、自己評価カードに記入をする。
--	--	---	--

8 考察

(1) 主体的に社会とかかわり、考える力・表現する力を育てる教材の開発

①単元で取得させたい知識・概念に対する問いが生まれる教材の開発

家庭での買い物調べからスタートした小単元であったが、家の人はどのような理由でお店を選んでいるのかを考える良いきっかけとなった学習活動であり、それをもち寄った全体の話合いの場では、多くの児童がスーパーマーケットを利用していることを知り、大変意欲的に取り組んでいた。本地区の商店街については地理的に幅広く店をとらえ、商工会議所に連絡を取り、お店を20店ほど紹介していただいた。先にスーパーマーケットでの見学を終え、販売の工夫について理解した上で商店街の見学を行ったので違いについても実感できたようである。

②子供が主体的に関わり問題解決への意欲を高める教材の開発

家庭での買い物調べ後に白地図へ買い物先にシールを貼ってまとめたことで、児童のお店に対する概念がしっかりとってきた。お店＝不特定多数から、用途ご

とに、生活に深く関わっていることに気付きはじめた。そして、家庭では目的に応じて店を選んでいる事が分かった。

見学については地域の特性を活かし、スーパーマーケットと商店街の見学を2回行った。スーパーマーケットは学年全体で行い、「なぜこの店に来るのか」をお客さんにインタビューさせたことで消費者側の願いを知る事につながったことは良かった。また陳列係の従業員さんに工夫をしていることを聞いたり、児童中心の活動でお店の工夫さがしをしたりしたことで、単元に対してより意欲的に取り組めるようになった。

商店街については、スーパーマーケットの見学を先に実施しインタビューの仕方や聞き取り方法を学んでいたもので、一層積極的にインタビューすることができた。商店街の見学については班で店を2店選ばせたことも主体的な見学活動につながったと考えられる。

③社会に生きる人間の姿を追求できる教材の開発

商店街の見学でのインタビューでは、「親切に相談に乗るようにしている。」「コミュニケーションを大切にしている。」「お客さんに喜んでもらうため。」といった言葉が各店舗で聞かれた。これにより児童は消費者側の視点に立った、特に地域住民との結びつきを大切にしていることを理解し、人間の姿の追求につながる事になり、普段あまり興味の無かった商店街に目を向けるようになった。店先でのキャッチコピーは何ですかの質問からは、「他店にはないものを置いている。」「足利らしいものを。」「昔ながらの・・・。」などといった各店の独自性を発見することができた。また、キャッチコピーの質問は全部の班の共通の質問事項にしたことで、子どもたちの言語活動をサポートすることができた。

(2) 主体的に社会とかかわり、考える力・表現する力を育てる問題解決的な単元展開の工夫

①考える内容（知識・概念）・方法の明確化と学習内容の構造化

今回は導入段階で買い物調べ、その結果から多くの家庭で利用しているスーパーマーケットの良い点について話し合い、見学を実施する学習計画を立てた。それにより、お客さんの思いとお店の工夫がつながっていることに気がつく児童が増え、スーパーマーケットの見学では消費者側、販売者側それぞれの立場からの視点に立って見学し、考えることができた。また、それを受けて商店街の見学を行ったのでスーパーマーケットと商店街の良いところの違いを考えた児童も多くいたことは、計画上大変であったが地域の特性を活かし、スーパーマーケットと商店街の見学を行って良かったと言える。

②子供の学ぶ意欲を高め、考える力・表現する力を育てる学習問題・発問

学習課題については単元を通して『スーパーマーケット、商店街の工夫を見つけよう』に設定した。消費者の思いや願いに応えるための工夫に気付かせるために「お店のひみつをさぐろう」というめあてを立てた。そして、買い物日記から、お店の選び方や利用の仕方について考えた。班ごとの話し合い・学び合い活動の場では、初めは単に「品揃えがいいから。」という点にのみ注目していた児童が多かったが、実体験からスーパーマーケットや大型店では、ベビーカーを利用することができ子連れもいきやすい。」という意見を出していた。この話し合い活動により様々な角度から利用する理由について自分の考えをもつことができた。

③必要な情報の収集・読み取りを踏まえた思考・判断・表現の場の設定

社会科見学の事前の準備としてスーパーマーケットの各売り場の写真、陳列の様子、レジの様子等をたくさん用意した。商店街ではグループごとの選択制にしたので各お店の写真を用意し見学活動に対して興味関心を高める一助とした。

また、商店街の見学はグループごとであったので、まとめの活動として商工会議所の方をゲストティーチャーにお迎えし、確認の意味で商店街の工夫について話を聞いた。子どもたちは商店街での見学で学んだことを活かして、なぜコミュニケーションを大切にしているか等の質問をするなど全体的に興味をもって意欲的に話を聞いていた。

(3) 主体的に社会とかかわり、考える力・表現する力を育てる学習活動と指導・支援及び評価の工夫

①個での学びにおける指導支援の工夫

児童には家庭での買い物に関するインタビューを実施させたが、事前に保護者に目的を理解してもらい、お客の立場でお店を選んだり、願いがあったりすることを知る機会となった。カードには各家庭でコメントを記入していただいたことで、児童も自分の言葉でまとめようとする意欲が高まった。

②学び合いにおける指導・支援の工夫

買い物調べから自分の家でよく利用するお店を想定させ、複数のお店の長所や違いを比較し考えたことで販売側の共通の工夫や店の独自性に気付くことができた。また、今回のように話し合い活動・学び合い活動では比較したことを実体験と関連させて考えることを継続的指導した結果、話し合いに深まりが見られるようになった。

また、商店街についてまとめた活動では店のキャッチコピーや様子から、その店のよさについてグループごとに発表したことにより紹介されたお店に行ってみようという興味関心が高まったり、見学した以外のお店について調べてみたいという意見も出たりした。

③「社会的な思考・判断・表現」の評価の工夫

これまでの作業用紙（見学カード・店の名前、キャッチコピー、店内の様子を項目とした発表カード、お店の工夫についてメモした付箋等）を用意し、話し合い活動に臨ませた。これらの作業用紙を活用し、最後の単元のまとめとして記述や発表模造紙でまとめるなどで表現させた。これにより学習問題に対する自分なりの考えを意欲的に表現するようになり、教師も発表での観察評価だけでなく先述したような多様な方法で子どもたちの表現を評価することができた。

また、学習過程を振り返ることを目的とした自己評価カードを作成した。分かったことを記入する簡単なものであったが、教師からのコメントを入れることで、次時の学習意欲へつなげることができた。

<「研究集録」栃小教研社会科研究会 評 H26.2.26>

栃小教研社会科教育足利支部は、栃小教研のテーマに合わせ、「主体的に社会とかかわり、考える力・表現する力を育てる社会科学習」を研究主題とし、本年度が研究の第2年次として実践研究を進めてまいりました。具体的には、個で学びにおける児童の考える力・表現する力を育てるための工夫について研究を深めていただきました。

本研究は、「スーパーマーケット」と「商店街」を地域の事例として取り上げ、自分たちの生活と関連付け、販売の仕事に携わっている人々の工夫や努力に気付くことをねらいとし、授業実践されました。研究の成果を述べさせていただきます。

○ 教材の開発

児童の実態から、授業を組み立てることが大事です。そして、児童の関心・意欲が高まり、ねらいが達成できる題材を選ぶことも大切です。まずは身近に感じられるスーパーマーケットを調べる学習を行いました。調べ方も含め、興味を高めながら販売の仕事について学んでいきます。さらに学区の商店街を調べる学習につなげていきました。商店街の現状を考えると、そこは、身近で、努力や工夫をしている商店の再発見につながる題材でありました。

○ 学習過程の工夫

スーパーマーケットを調べることで、消費者側から見た商店のよさに気づくことができました。そして、商工会議所のゲストティーチャーを招き、商店街について話をしてもらい、児童の興味・関心を高め、さらに、調べる対象の商店に、「キャッチコピー」を考えてもらい、調べた商店のよさを児童が発見し、発表につなげていく。発表をする児童たちは、販売者の視点での工夫や努力について、自分の言葉で表現することができるようになっていました。

学習過程の背景には、教師が社会とかかわりを通して教材研究を深めるとともに、児童の興味・関心を高めさせる教材や発問等を工夫された単元指導計画になっておりました。また、授業では、机間指導、ワークシート等の支援を通して、個々の学習状況を把握しながら学習が進められておりました。

社会科は現代社会を基盤にして考え、人と人とかかわりを通して学習問題を追究していく教科でもあります。クラスにいる児童も、社会の一員であります。

本研究は、児童の実態、地域の実情をしっかりとらえ、「商店街」を題材にして、人々の工夫や努力を学び取っていく授業展開でした。さらに、身近な商店を調べることにより自分たちの住んでいる地域が好きになる展開でありました。

これからも、単元を通じて、社会科でつきたい力を育成する場面を設定し、指導と評価の一体化をめざしながら、実践的な研究をさらに深めていただきますようお願いいたします。